

学期	月	時数	単元名 教材名	学習目標 学習内容	評価の観点			評価規準 (評価方法)
					知	思	態	
1 学期	4 5 7 月	3 (毛筆3 4 硬筆2)	3 文字を使い分ける					
			[考えよう] 手書きのよさって何だろう	教科書P. 88-89を基に、手書き文字のよさについて考え、交流する。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>手書き文字のよさを理解している。(発言、ワークシート)</li> <li>積極的に手書き文字のよさについて考え、それについて話し合おうとしている。(発言、ワークシート)</li> </ul>
			全国文字マップ	・身の回りには文字による多様な表現があることを理解することができる。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りには文字による多様な表現があることを理解している。(発言、ワークシート)</li> <li>積極的に身の回りの文字を探し、学習の見通しをもって見つけた文字による多様な表現について発表しようとしている。(発言、ワークシート)</li> </ul>
			文字の使い分け	・身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。(作品)</li> <li>積極的に明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を理解し、学習課題に沿って調べた身の回りの文字について発表しようとしている。(観察、ワークシート)</li> </ul>
			[コラム] ユニバーサルデザインフォントって何だろう	・見やすさや読みやすさにこだわった活字の書体を知ること、文字文化の豊かさへの理解を深めることができる。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>見やすさや読みやすさにこだわった活字の書体を知ること、文字文化の豊かさへの理解を深めている。(発言、ワークシート)</li> <li>積極的に身近なユニバーサルデザイン書体の使用例を探し、学習の見通しをもって見つけた文字について進んで発表しようとしている。(発言、ワークシート)</li> </ul>
2 学期	8 5 1 2 月	3 (毛筆3 4 硬筆2)	三年間のまとめ	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>今までに学習した知識・技能を生かして書いている。(作品)</li> <li>積極的に三年間で習得した知識・技能を振り返り、これまでの学習を生かして自分で決めた課題に沿って「探究」「輝ける未来」を書こうとしている。(観察、ワークシート)</li> </ul>
			[コラム] 自分らしい文字	著名人の手書き文字(名前)のさまざまな書きぶりを味わい、未来の自分をイメージし、それに合った書きぶりを考えて名前を書く。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>手書き文字は書き手によって異なり、人柄や個性が表れることを理解している。(ワークシート)</li> <li>これまでの学習を生かして、未来の自分をイメージして名前を書こうとしている。(作品)</li> </ul>
			[国語] 季節のしおり3	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>今までに学習した知識・技能を生かして書いている。(作品)</li> <li>進んで習得した知識・技能を振り返り、これまでの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。(観察、ワークシート)</li> </ul>
			書き初め	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	○			・今までに学習した知識・技能を生かして書いている。(作品)
	1 3 月	6 7 (毛筆)	[国語] 冊子にまとめよう	・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	○		○ 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までに学習した知識・技能を生かして書いている。(清書作品)</li> <li>冊子にまとめる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。(清書作品)</li> </ul>

3 学 期	筆 1 〜 2 / 硬 筆 5	書く道具が生まれる	・筆・墨・硯・紙・鉛筆の伝統的な作り方を 知ること、書写学習や文字文化への関 心を高める。	○	○ 進んで習得した知識・技能を振り返り、 今までの学習を生かして学校や部活 動の魅力を伝える冊子を作ろうとしてい る。（観察、ワークシート、評価シー ト）
	[発展] なりきり、書聖・王羲之	・「蘭亭序」を鑑賞し、これまでに学習し てきた漢字が、先人の優れた筆跡を基礎と して発展してきたものであることを理解す る。	○	○ 筆・墨・硯・紙・鉛筆の材料や作り方 を理解し、理解したことや感じたことを 交流しようとしている。（観察、ワーク シート）  ○ 高等学校では芸術としての「書道」を 学ぶことを理解している。（ワークシー ト）  ○ 積極的に先人の筆跡に関心を持ち、学 習の見直しをもって「蘭亭序」をなぞろ うとしている。（観察、ワークシート）	